

INTERVIEW

スマートライン採用施設インタビュー



社会福祉法人三篠会 障害者支援施設 白木の郷

股が閉じやすいおむつ スマートフィットテープ止めタイプ

スマートフィットをお選びいただいた経緯をお聞かせください。

中佐古「もともと布おむつを使用していましたが、ゴワつきやムレによる肌トラブルを改善したいと思い、紙おむつへの変更を進めてきました。そんな中、2016年にリブドゥさんの新商品発表会に参加し、スマートラインを紹介してもらいました。うすさと通気性の良さがご利用者様にとって非常に良い商品だと思ったので、数週間ほどサンプルを試させていただきました」



最初にスマートフィットを見られたときの印象はどうでしたか？

中佐古「うすさと吸収体のすっきり感に驚きました。でも、ネガティブな印象はなく、股が閉じやすいだろうと非常に好印象を受けました。股の閉じやすさは施設で取り組んでいるノーリフティングケアの取り組みの中でとても



施設長
平田氏



介護福祉士・おむつフitter2級
中佐古氏

リフレスマートラインのスマートインパンツタイプ・スマートフィットテープ止めタイプをお使いいただいている、広島県広島市の「障害者支援施設 白木の郷」様にご訪問させていただきました。障害者支援施設白木の郷は、平成8年に広島市内で初めての身体障害者療護施設として開所。社会福祉法人三篠会は酒井法城さんが昭和27年にお寺の境内で開いた保育園が出発点で、同法人設立後は児童だけでなく高齢者や障がい者などを対象にした幅広い福祉事業を展開し、現在全国で23施設を展開しています。今回はスマートラインの採用の経緯から、現在のご使用状況を含めて、施設長の平田さん、介護福祉士でおむつフitter2級の中佐古さんにインタビューしました。

大切なことなんです。うすいことで股が閉じやすいと、ベッドや車いすでの姿勢安定にも繋がりますし、通気性がよくてムレないので褥瘡も予防できる、さらにパッドもズレない。ノーリフティングケアの取り組みに本当にぴったりな商品だと感じました。うすいのでゴミが減るといところが魅力でしたね」

見違えるほどのすっきり感！ 立体ギャザーも高くして使いやすい

実際に使われてみて、どうでしたか？

中佐古「装着してズボンをはいたときに、おしりのすっきり感が目に見えてわかりました。布おむつにパッドを入れてずっと使っていましたが、紙おむつに変更して、スマートフィットに変更して…見違えるほどすっきりしています」

平田「あの時に比べたら本当にうすくてすっきりしましたね」

中佐古「実際に職員もスマートフィットを装着して、うすさやゴワつきのなさを実感しました。自分がいずれおむつを使うことを考えても、やっぱりうすいものもいいなと感じましたね」



一番のお気に入りポイントを教えてください。

中佐古「うすさもいいですが、一番のお気に入りは立体ギャザーの高さです。ギャザーが高いのでソケイ部に沿わせやすいし、夜間でもパッドが入れやすいですね。使いやすくて気に入っています。一つだけ、どうしてもお願いしたいことがあるんですが、Sサイズのような小さいサイズがほしいです。使いたいと思う方でサイズがあわない方は別の商品を使っているんで、ぜひ小さいサイズも作ってください」

Sサイズの商品化についてはたくさんのお声をいただいております。一日でも早く発売できるよう準備を進めてまいります。

パッドをしっかりホールドする安心感 スマートインパンツタイプ

スマートインをお選びいただいた経緯をお聞かせください。

中佐古「従来の紙パンツは大きいパッドをホールドできなかったんですね。ずっと、大きいパッドがしっかりおさまる紙パンツがあればいいのに…と思っていたところ、スマートインの紹介を受けてとても興味をもちました。夜間は紙パンツだと不安で、おむつにはき替えている方がいたので、大きいパッドをホールドできてモレにくい、そして通気性がいいところが魅力で、是非夜間に試してみたいなと思いました」



実際に使われてみて、どうでしたか？

中佐古「うすさがお気に入りです。うすいことで動きやすいですし、通気性もはきごちもいいですね。見た目はうすいんですけど、中のパッドを使い分けることでモレのトラブルもなく使えています。ホールド機能もいいので、夜間も安心して使用できています」

快適で動きやすい！ みんなに使ってあげたい紙パンツ

職員さん自身にも実際にはいていただいたとお聞きしました。

中佐古「自分でもはいてみました。うすさに加えて、ギャザーがしっかりホールドしてくれるので、排尿後のパンツのずっしり感やズレは従来品と比較してやっぱり違うなと感じましたね。足の動かしやすさもこちらのほうが下着に近いように感じました」

ご利用者様にも変化は見られましたか？

中佐古「これまでは、いかにもおむつをはいているという見た目でしたが、スマートインに変えてかなりすっきりしました。在宅へ復帰される方のことを考えてもやっぱりパンツで生活できることは良いことだと思います。テープ止めのおむつに比べると、通気性もよくて快適なので、できる限りパンツで過ごせるようにしてあげたいですね。そのためにも、スマートインをみんなに使いたいです。やっぱり小さいサイズもほしいですね。体の小さな方は仕方なく分厚いパンツを使用している方もいるので、スマートインも小さいサイズをぜひ作ってください」



スマートフィット、スマートインともにSサイズの商品化は必須だと考えています。早くご要望にお応えできるように準備を進めてまいります！

うすいおむつで座位姿勢は変えられる

ノーリフティングケアの取り組みにおいて、スマートラインは効果的でしょうか？

中佐古「従来のおむつからスマートラインに変えたことで、まず足の閉じやすさが違います。姿勢の維持もしやすくなっていると思います」

平田「座位姿勢はとても大切なんですよ。座っている姿勢が崩れると食事の際に嚥下が悪くなったり、褥瘡や拘縮に繋がったり、呼吸が浅くなったり…」



座位姿勢を整えることはとても大切ですよ。

平田「安定した座位姿勢をとってもらうことはノーリフティングケアの基本なんです。座っているときにおしりがしっかり座面についているという意味でも、分厚いおむつだと当然不安定になって姿勢は崩れてしまいます。そのため、うすいおむつは絶対に必要だと思いますし、それを使って座位の姿勢をきちっと保っていくというのは二次障害の予防にも繋がるとも思います。移乗や寝る体勢を意識する以前に、きちっと座ることはとても大切なことです。排泄にも大きく関わってくるので、当たり前なことですが意識して変えていくことが大切だと思いますね」



排便コントロールにも取り組まれているとお聞きしましたが？

中佐古「下剤を飲んで排便するのが当たり前といった認識になっていたの、薬を使わずに排便を促せたらいいなという想いで取り組みを始めました」

平田「下剤で軟便が出ると、どんなおむつでも受け止めきれないですね。やっぱり、ちゃんとおむつで受け止めるためには良い便がでないといけない。いいおむつをより快適に使ってもらうためには、出るものをよくしていかないといけない。実際に春頃から委員会を立ち上げて取り組みを進めています。座学と実践を繰り返して、結果的に下剤の量が減ってきています。良い便が出ることでモレも減りますし、うす型のスマートラインも相まって肌の改善も感じられるようになってます。今後も委員会を通して取り組んでいきたいと思っています」



ノーリフティングケアや排便コントロールなど、施設全体で改善に向けて取り組んでいる姿勢が非常に素晴らしいと感じました。このたびは忙しいところお時間をいただきありがとうございました！